

都市宣言

◆「平和を」の都市宣言（平成17年11月3日）

◆雲南市男女共同参画都市宣言（平成25年11月30日）

◆うんなん健康都市宣言（平成26年11月1日）



市章

平成16年11月1日制定

雲南市の「U」をモチーフに、「いきいきとした自然・人・街（ふるさと）」「生命と神話が息づく新しい日本のふるさと」をイメージし、全体として、未来に向かって躍動・発展する雲南市を力強く表現しています。

全国公募により、1,480点のデザインの中から、住民アンケートを経て選定されました。



市の木

いちよう

イチヨウ科イチヨウ属
平成18年12月21日制定

【選定理由】 いちようは、落葉高木で秋には黄色く色づきます。樹齢は、500～600年といわれ、生命力にあふれた樹木です。また、病害虫にも強くこの地域の気候や風土にも適した育てやすい樹木です。高さが20～45mと高く、天に向かって伸びていくその姿は威風堂々として美しくかつ雄大で、まさに雲南市の限らない発展を象徴しています。市内では官公庁や学校、寺社の境内などに見られます。春の桜の美しさに対し、秋にはいちようの黄葉で雲南市の美しい景観づくりを進めたいという思いを込めて選定しました。



市の花

さくら

バラ科サクラ属
平成18年12月21日制定

【選定理由】 日本さくら名所100選に選定された「斐伊川堤防桜並木」は、中国地方随一の桜の名所として花の見頃には、多くの観光客でにぎわい、その名を馳せています。また、三刀屋川堤防、丸子山公園、加茂中央公園など市内各地に桜並木があり、地域の皆さんに親しまれています。そのほかにも、三刀屋町の御衣黄桜、加茂町三代の枝垂れ桜などの珍しい桜や巨木など地域で親しまれている桜も多く、市内全域の山々には山桜が自生しています。このように雲南市民に広く親しまれ、全国にアピールできる花として桜を選定しました。

雲南市の歌（平成26年11月1日制定）

姉妹都市 アメリカ合衆国インディアナ州リッチモンド市（平成26年8月11日 姉妹都市協定締結）

雲南市へのアクセス

ACCESS



出雲縁結び空港から
車（タクシー）で約20分



JR松江駅から
JR木次駅まで約1時間

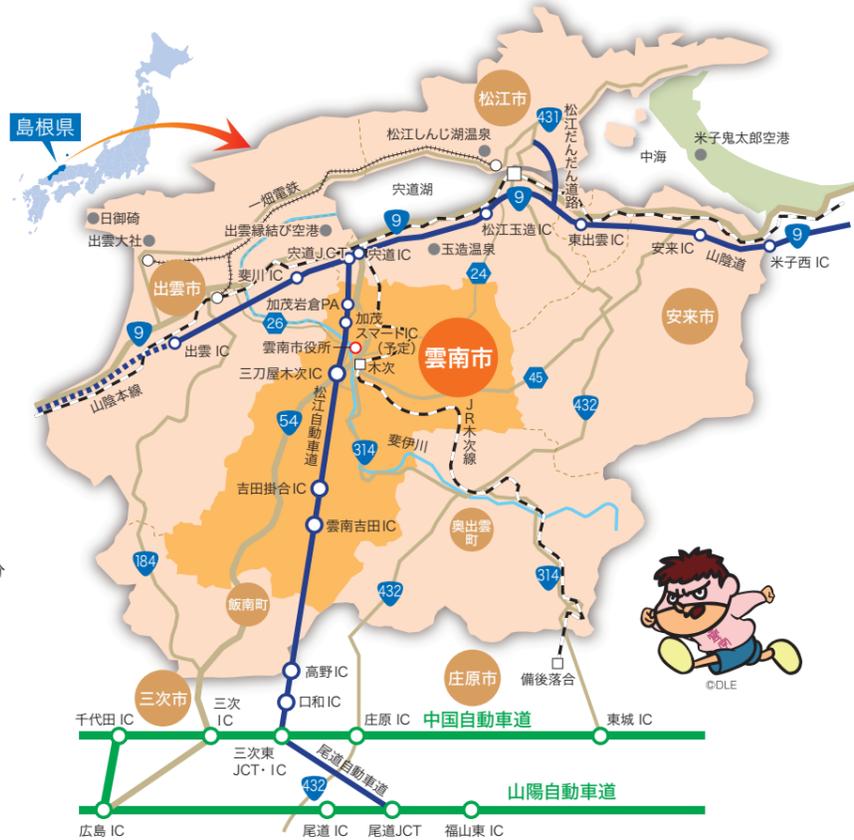
JR出雲市駅から
JR木次駅まで約1時間

JR宍道駅から
JR木次駅まで約30分



中国自動車道から
三次東JCT・ICから松江自動車道で45分
東城ICから国道314号で約2時間

松江自動車道から
三刀屋木次ICから約5分
松江玉造ICから35分
出雲ICから30分



発行 島根県雲南市 〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521番地1 TEL:0854-40-1000(代表)
http://www.city.unnan.shimane.jp/ e-mail:unnan-city@city.unnan.shimane.jp

発行年月 令和4年3月

雲南市
ホームページの
二次元コード



雲南市

市勢要覧

2022

生命と神話が息づく
新しい日本のふるさとづくり



雲南市



ごあいさつ

Greetings

令和3年7月豪雨災害は、雲南市合併後最大の被害をもたらしました。三刀屋市街地の冠水のほか、山間地域では3千ヵ所におよぶ公共施設災害、農地・農業用施設災害が発生しました。雲南市では、国の激甚災害指定を受けて1日も早い災害復旧に努めているところです。

発災時においては、地域自主組織をはじめ地域の皆様が自発的にさまざまな活動を行われ、合併以来取り組んでまいりました市民と行政の「協働のまちづくり」の成果を感じ、これからも地域の力を生かしていく必要があると感じたところであります。

令和2年度国勢調査結果では、人口が36,007人と、平成27年と比較して3,025人の減少となり、少子高齢化を背景に人口の自然減が拡大してきています。

雲南市では、第2次総合計画に基づき、人口の社会増をめざした取り組みを行ってまいりましたが、この度、令和6年度の目標人口を33,800人と改め、その実現と将来的な人口の安定化に向けた対策の強化に取り組んでまいります。

雲南市の強みである「地域力・市民力」を生かし、都市にはない心豊かに暮らせる環境をつくり、豊富な地域資源を生かし、男女共同参画社会を実現していくことにより、人口減少社会を乗り越え、誰もがいきいきと、明るく、安心して暮らし、明るい展望を見出すことができる雲南市をめざし、市民の皆様の声に耳を傾けながら一步一步着実にまちづくりを進めてまいります。

雲南市長 石飛厚志



雲南市プロフィール

PROFILE

地勢

TOPOGRAPHY

島根県の東部に位置し、面積は 553.18 km²です。北部は出雲平野や宍道湖が広がる松江市、出雲市と接し、南部に中国山地が連なり、広島県に接しています。

市内には、一級河川の斐伊川と支流の赤川・三刀屋川・久野川などのほか、神戸川に注ぐ稗原川、波多川が流れています。このため、加茂町から大東町、木次町、三刀屋町にかけ、斐伊川と赤川、三刀屋川の合流地点を中心に平坦部が広がっていますが、南部は中国山地に至る広範な山間部となっています。

人口

POPULATION

雲南市の人口は、令和 2 年国勢調査によると 36,007 人で、平成 27 年国勢調査と比較すると 3,025 人 (7.8%) 減少し、うち 65 歳以上の高齢人口が占める割合は 40.1% と、年々高齢化が進んでいます。年齢別人口構成は、少子高齢化が進み、令和 2 年には高齢化率が年少人口割合を上回り、令和 2 年には年少人口割合は 11.2% となっています。

歴史

HISTORY

市内各地に神話や伝説が残り、多くの遺跡や古墳が発掘され、平成 8 年 10 月には 1 ヶ所の出土としては全国最多となる 39 個の銅鐸が加茂岩倉遺跡から出土しています。

市の中央を縦断する斐伊川は、ヤマタノオロチ伝説でも知られ、古くから支流周辺の低地では農耕が営まれ、また、山間部ではたたら製鉄や炭焼きが盛んに行われてきました。



加茂岩倉遺跡から出土した銅鐸 (加茂)



須我神社 (大東)

産業

INDUSTRY

【農林業】 有機農業への先駆的な取り組みから安全・安心な米や畜産、野菜、花き栽培など良質な農畜産物が生産され、平成 10 年から続く島根県農業協同組合と連携した農産物の産直のほか、乳製品やワインなどの多彩な加工品も作られています。林業では、森林資源の調査を行い効率的な施業を進め、2 ヶ所の木材流通拠点施設を核とした販路の拡大と商品開発の推進や公共建築物、木質チップボイラーで市産材を利用することで森林整備を推進しています。

【工業】 加茂町・木次町等に企業団地が整備されており、誘致企業をはじめとする事業所が立地しています。特に木次町に一般機械製造業、電気機械製造業等の集積が進んでおり、令和元年工業統計調査の製造品出荷額は県内第 4 位となっています。産業分類別でみると、食品、衣料、木材、一般機械などの事業所が立地しています。

【商業】 消費の市外流出によって、地域商業の減退が進んでいることから、中心市街地活性化事業に取り組み、新たな商業集積施設「コトリエット」がオープンしました。今後はビジネスホテル整備が予定されています。また、空き店舗活用に向けた取り組みを支援しています。今後は地域内で利用できる電子地域通貨の取り組みを進め、地域商業の新たな活気づくりに取り組んでいきます。

【観光】 日本さくら名所 100 選の「斐伊川堤防桜並木」をはじめ 3 ヶ月楽しめるさくら、日本の滝百選に選定された「龍頭が滝・八重滝」、棚田百選の「山王寺の棚田」など、季節ごとに違う表情を見せる豊かな自然が体験できる観光資源が豊富にあります。また、国の重要有形民俗文化財に指定され、日本で唯一現存する「菅谷たたら高殿」や近代たたら操業が体験できる施設などでは、鉄づくりの歴史と文化を感じることができます。この他にも、出雲国風土記に記されている古くからの温泉、自然を満喫できるキャンプ場、平和学習の拠点である永井隆記念館などの施設があります。



シャインマスカット



雲南吉田木材流通拠点施設 (吉田)



拡張整備を進めている神原企業団地 (加茂)



中心市街地商業施設「コトリエット」(三刀屋)



棚田百選「山王寺の棚田」(大東)



日本の滝百選「八重滝」(掛合)

第2次雲南市総合計画

(後期基本計画・第2期総合戦略)

まちづくりの基本理念

いのち
生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり
「課題先進地」から「課題解決先進地」へ

私たちは、力を合わせて課題を乗り越えるという合併時の決意を忘れず、さらに歩みをすすめます。

グローバル経済が進展する社会において、経済の好循環と地域の自立に向けた挑戦。平和や地球環境、食料、エネルギーなど地球規模の課題に対する雲南市の責務の遂行。格差や差別のない、安全・安心な暮らしづくり。そして、何よりも持続可能な地域に向け、人口の急激な減少を食い止める挑戦。

私たちは、雲南市が継承してきた恵みを活かし、助け合い、情報を共有し、互いに学び合い、そして、外へ伝え、外とつながっていくことで、これらの課題に立ち向かいます。

雲南市のめざす姿

雲南市の
挑 戦

基本理念に掲げた挑戦により、「安全・安心」「活力と賑わい」「健康長寿・生涯現役」の実現をめざします。多彩な地域づくり組織や市民と行政の協働により、「課題先進地」から「課題解決先進地」へと失敗を恐れない挑戦を続けます。

分野ごとの将来像

みんなで築くまち (協働・行政経営)

交流人口を拡大し、訪れる人が住みたくなくなる魅力あふれるまちに向け、地域づくり活動や多世代・多様なチャレンジを支援するほか、さまざまな主体と連携協働し、時代を先取りする行政経営に挑戦します。

安全・安心で 快適なまち (定住環境)

安全・安心な生活を営むための生活基盤の計画的な整備や維持のほか、自然災害や原発事故などに備える体制の整備をすすめ、地域自主組織の自主防災・防犯の活動を支援します。また、都市機能の充実や定住のための住宅施策を一層すすめます。

支えあい健やかに 暮らせるまち (保健・医療・福祉)

子どもたちが健やかに育つよう、子育てしやすい環境を一層充実します。また、医療体制の充実とともに、介護・障がい者福祉サービス基盤の充実を図り、事業者とともにサービス提供に努め、自立に向けた支援をします。

ふるさとを学び 育つまち (教育・文化)

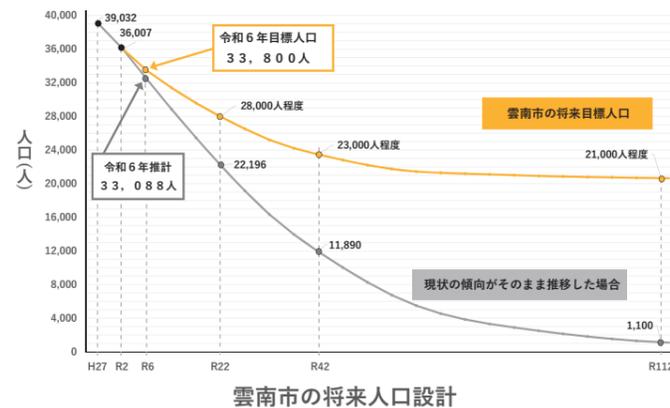
確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育環境の充実を図るとともに、学校・家庭・地域(企業・NPOを含む)との協働により、子どもから大人まで多様な学びの環境と機会の充実を図ります。

挑戦し活力を 産みだすまち (産業)

農林業や観光、中小企業の振興に加え、企業立地のための環境整備を図るとともに、創業者や経営者の活力ある産業振興に向けた挑戦を支援します。

『人口の社会増』への挑戦

これまで、第2次雲南市総合計画(基本計画・総合戦略)において、「定住基盤の整備」と「人材の育成・確保」に関する施策を着実にすすめてきたことにより、子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合は年々増加していますが、依然として市外への転出超過は続いています。こうした状況を踏まえ、第2次雲南市総合計画の目標人口を再設定し、計画終期となる令和6年度までの3年において、目標実現に向けた対策の強化を図るとともに、将来的な人口の安定化をめざし、中長期を見据えて確実な成果に結びつく取り組みをすすめます。



令和4年度の主な取り組み

[協働・行政経営]

みんなで築くまち

取り組み
01

地域自主組織やさまざまな活動団体が行政とともに主体的に課題解決に取り組む「協働のまちづくり」をすすめます。地域活動の担い手を育成する「地域経営カレッジ」の開催や地域同士の学び合いを推進するほか、地域の活動拠点の整備をすすめます。また、社会課題の解決に挑戦する若者や民間事業者など多世代・多様な主体による地域づくり活動を促進します。



[定住環境]

安全・安心で快適なまち

取り組み
02

令和3年7月豪雨災害からの復旧・復興を着実にすすめるとともに、「コウノトリ」との共生をめざした環境づくりや脱炭素社会構築に向けた計画づくりに取り組みます。また、若者が魅力を感じる住宅地の供給に取り組むとともに、子育て世帯を対象とした宅地購入や住宅改修に対する助成を行います。ケーブルテレビ伝送路の光ファイバー化により、4K・8K放送や高速インターネットに対応できる環境整備をすすめます。



[保健・医療・福祉]

支えあい健やかに暮らせるまち

取り組み
03

市立病院と連携して地域医療のさらなる充実を図るとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた推進体制を充実し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域の実現をめざします。また、子育て環境の充実を図るため、義務教育終了までの医療費無料化など経済的負担の軽減に継続的に取り組むほか、放課後児童クラブや病児・病後児保育の受け入れなど保育サービスの充実に取り組めます。



[教育・文化]

ふるさとを学び育つまち

取り組み
04

キャリア教育を一層すすめるとともに、コミュニティスクールを中心とした地域とともにある学校づくりに取り組みます。また、GIGAスクール構想により児童生徒に配備したタブレット端末の活用を促進するとともに、市内小中学校のトイレ洋式化など、安全安心な教育環境の整備に取り組めます。スポーツ・文化活動の振興を図るため、文化施設の大規模改修や市内体育館の長寿命化に着手するほか、スポーツ少年団や文化協会など各種団体の活動支援に取り組めます。



[産 業]

挑戦し活力を産みだすまち

取り組み
05

若者や女性が魅力を感じるIT系など事務系職場の誘致や企業団地への誘致に積極的に取り組むほか、専門スタッフ等による経営相談や起業創業支援に取り組めます。また、産直振興による農家の所得向上を図るため、農産物の生産支援や販路拡大に取り組むとともに、アフターコロナを見据えた交流人口の拡大に向け、広域観光の推進や木次線、道の駅、菅谷たたら山内をはじめとした観光資源の利活用に取り組めます。



重点方針 01

若者や女性が暮らしたくなる魅力づくり

- 若者や女性に魅力ある住環境の整備に取り組みます。
- 若者・女性の多様な価値観に応えられる働き場の確保に取り組みます。
- スポーツや文化芸術活動の振興など若者や女性が生きがい・やりがいを感じられる環境づくりに取り組みます。



幼少期から文化芸術活動を体験できるイベント
「UNNAN アートスタート」

重点方針 02

地方に魅力を感じる 移住希望者や企業への 積極的な対応

- 雲南市の魅力や移住支援情報の発信機能の強化に取り組みます。
- テレワークやワーケーションなどの新しい働き方への対応を進め、積極的な受け入れを図ります。
- アクティブシニアや外国人など多様な人材の受け入れに取り組みます。



雲南市の移住支援制度を活用し、移住されたご家族

重点方針 03

安心して結婚・出産・ 子育てしやすい環境づくり

- 結婚、出産、子育てを応援する制度の創設に取り組みます。
- 子育てしながら働きやすい環境づくりに取り組みます。
- 若いうちから結婚や家庭などのライフプランを考える機会づくりに取り組みます。



子育てしながら働きやすい環境づくりに向けた取り組み
「子連れオフィス」

5つの重点方針
将来人口の安定化を実現するための
令和6年目標人口を達成し、

地方創生・ 人口の社会増に向けて

重点方針 05

産業の活力を高め、 地域経済の好循環を生み出す

- 農地や山などの地域資源を活用したビジネス創出支援に取り組みます。
- 中心市街地の活性化や既存事業者のイノベーション支援を通じて、地域経済の活性化に取り組みます。
- 木次線や道の駅などの地域資源を活かした観光振興に取り組みます。
- 豊かな環境を活かし、脱炭素・循環型社会の実現に取り組みます。



事業創出に取り組む「事業創出ラボ『SHIFT』」
(アイデア出しの様子)

重点方針 04

まちを創る人材の育成と還流の促進

- 市内3高校の魅力化の促進と卒業後のコミュニティづくりを進め、将来的なUターンの促進を図ります。
- 市民主体のまちづくり、地域づくり活動が持続的な取り組みとなるよう仕組みづくりに取り組みます。
- 農林業や医療・福祉分野などの人材不足を抱える分野の人材確保に取り組みます。



雲南市を学びの場として市内外の大学生が学びと実践を行う「雲南コミュニティキャンパス」

ソーシャルチャレンジバレーへの挑戦

「子ども × 若者 × 大人 × 企業チャレンジの連鎖」による持続可能なまちづくり

これまでの取り組みにより、子どもから大人まで、多世代多様なまちづくり活動が市内各地で展開されています。「子ども × 若者 × 大人 × 企業チャレンジ」を加速させ、地域全体で社会課題を解決する「ソーシャルチャレンジ」の取り組みをすすめ、安心して暮らし続けられる地域の実現をめざします。

challenge 1

未来をつくる意志と力を育む
「子どもチャレンジ」

新しい時代に対応した「公教育モデル」を構築し、「スペシャルチャレンジ」*を起す気概のある18歳を育みます。

* my (個人の内側からこみ上げてくる)、social (社会性を帯びる)、action (主体的な行動を伴い学び成長する)の観点をもつチャレンジ。



雲南スペシャルチャレンジ制度（ジュニア部門）を活用し、地域の課題解決などに取り組む高校生たち

challenge 2

地域と自分の未来を切り拓く
「若者チャレンジ」

志ある大学生や若者、市内事業者のイノベーションを創出し、地域に必要な新事業を創出します。



雲南スペシャルチャレンジ制度（ホープ部門）を活用して開発されたカーシェアリングサービス

challenge 3

自分たちが地域を経営する
「大人チャレンジ」

地域を担う多様な人材を育成・確保する仕組みを構築するとともに、地域の持続可能性を高める多世代・多分野の「ソーシャルチャレンジ」を創出します。



地域の担い手確保を目的に開催している「地域経営カレッジ」

challenge 4

地域と共に社会課題に挑む
「企業チャレンジ」

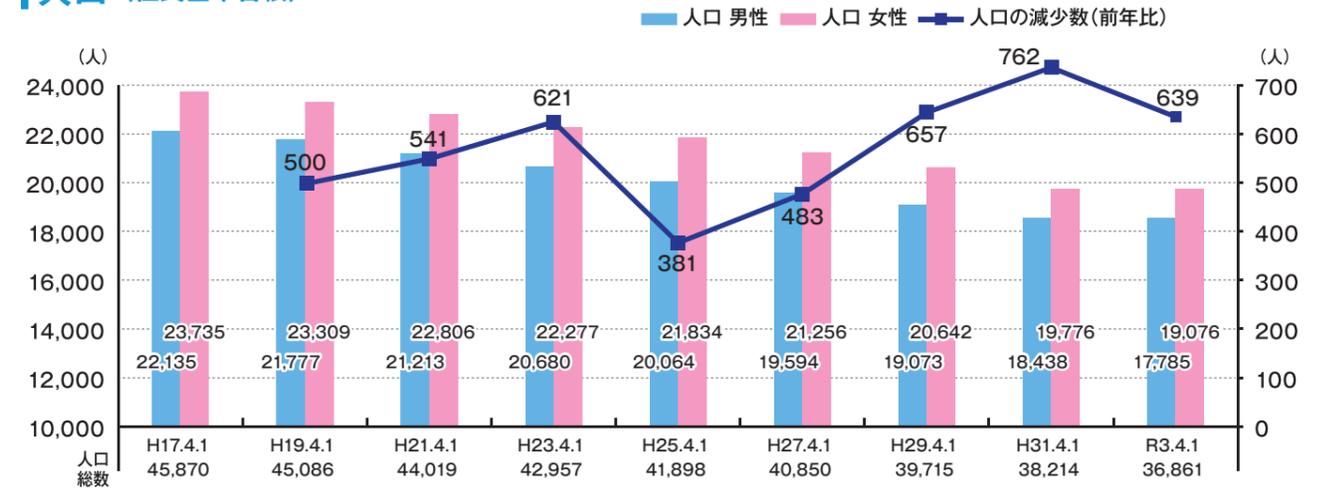
地域と市内外の企業による連携協働を進め、社会課題を解決する新事業を創出します。



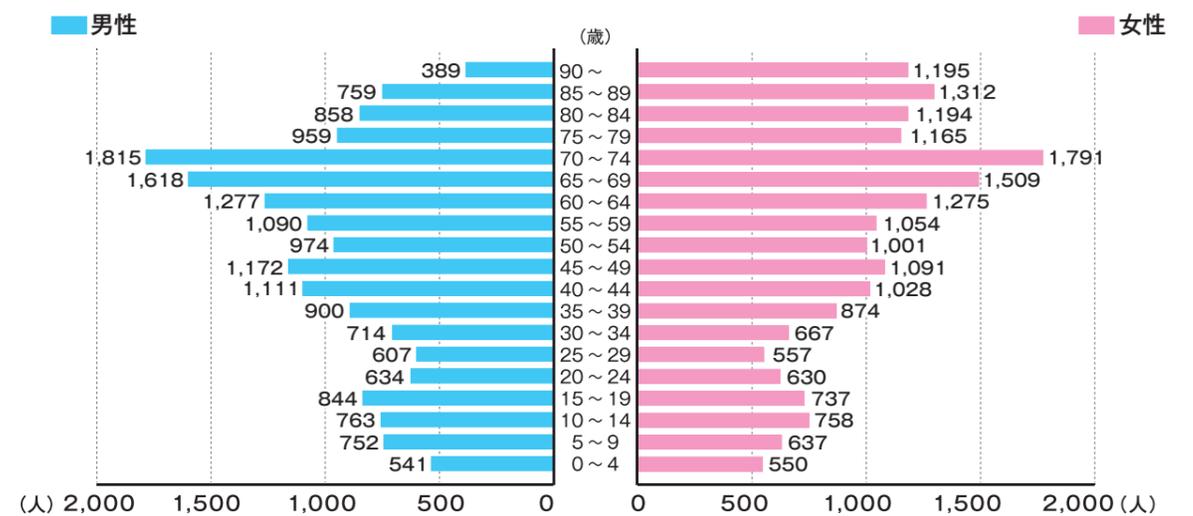
地域のお出掛け支援に向けたスローモビリティの実証運行

統計資料・グラフで見る雲南市

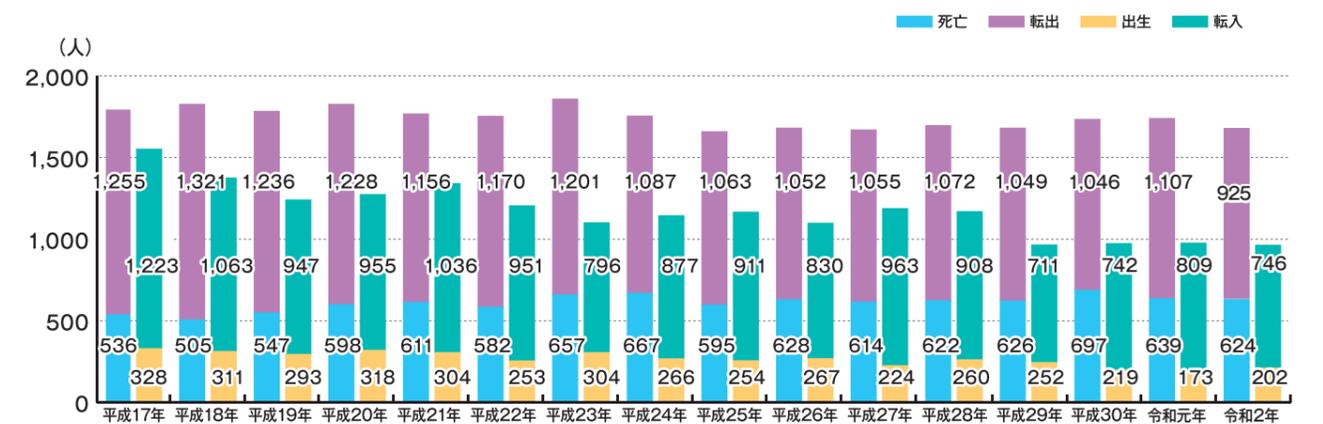
人口（住民基本台帳）



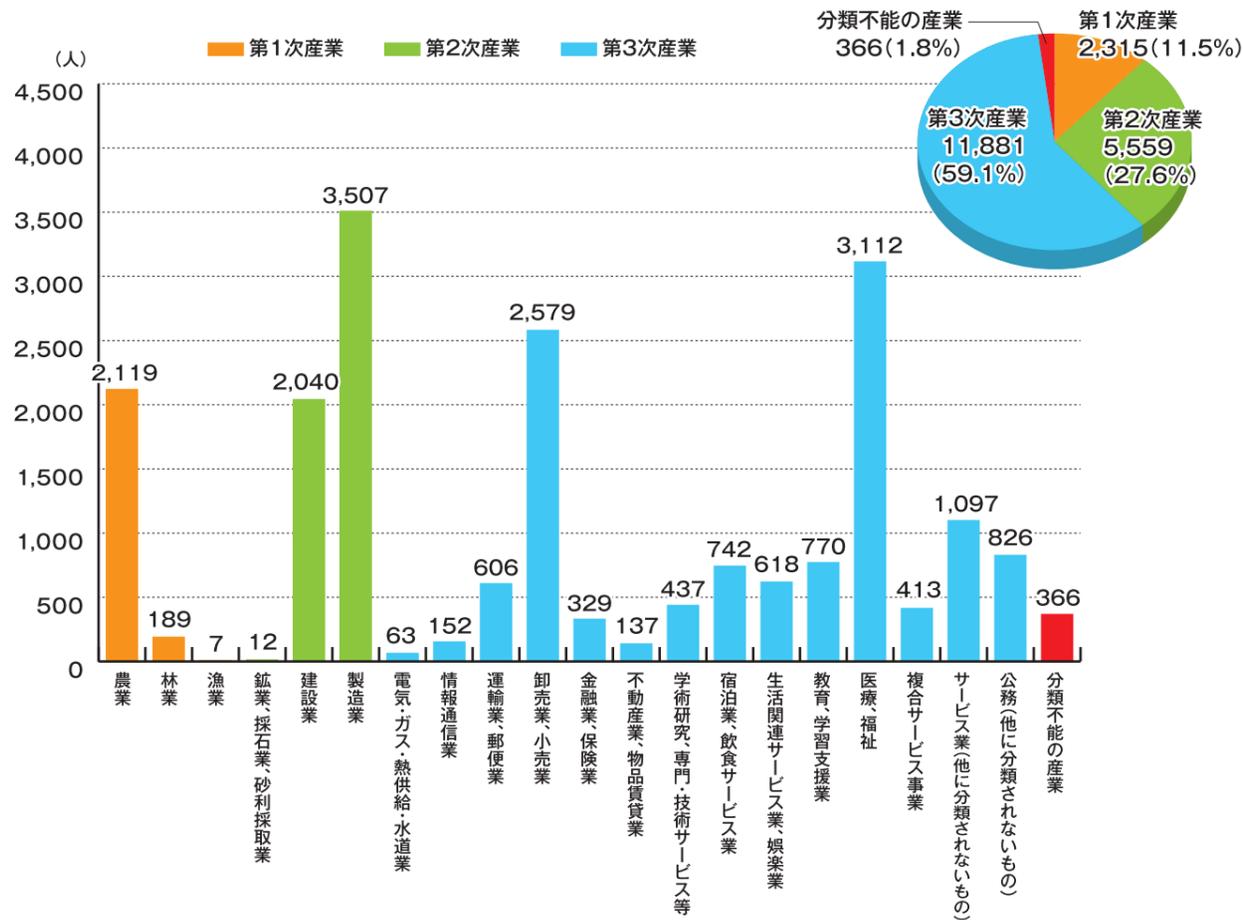
人口ピラミッド（住民基本台帳R3.4.1現在）



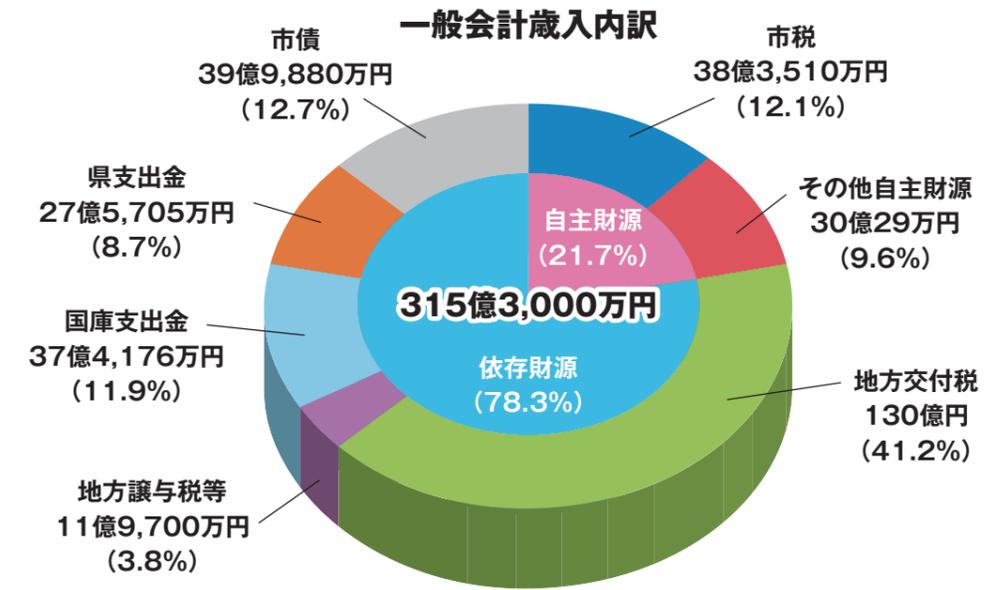
人口動態（島根県人口動態調査）



産業別従事者数 (平成27年国勢調査)



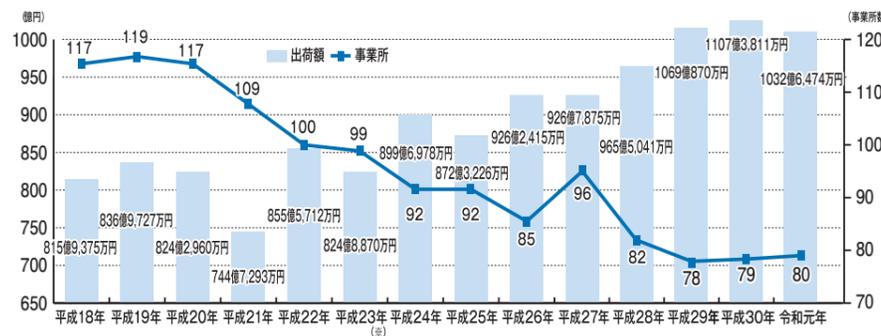
令和4年度 一般会計当初予算額



製造品出荷額等の推移 (従業者4人以上の事業所)

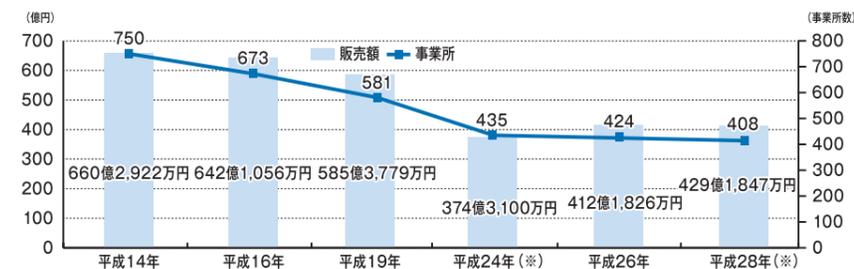
(工業統計調査及び平成24年、平成28年経済センサス-活動調査)

※平成23年は、工業統計調査(基準日:12月31日)は行われていないため、平成24年2月1日基準日を実施した平成24年経済センサス-活動調査の結果を参照。

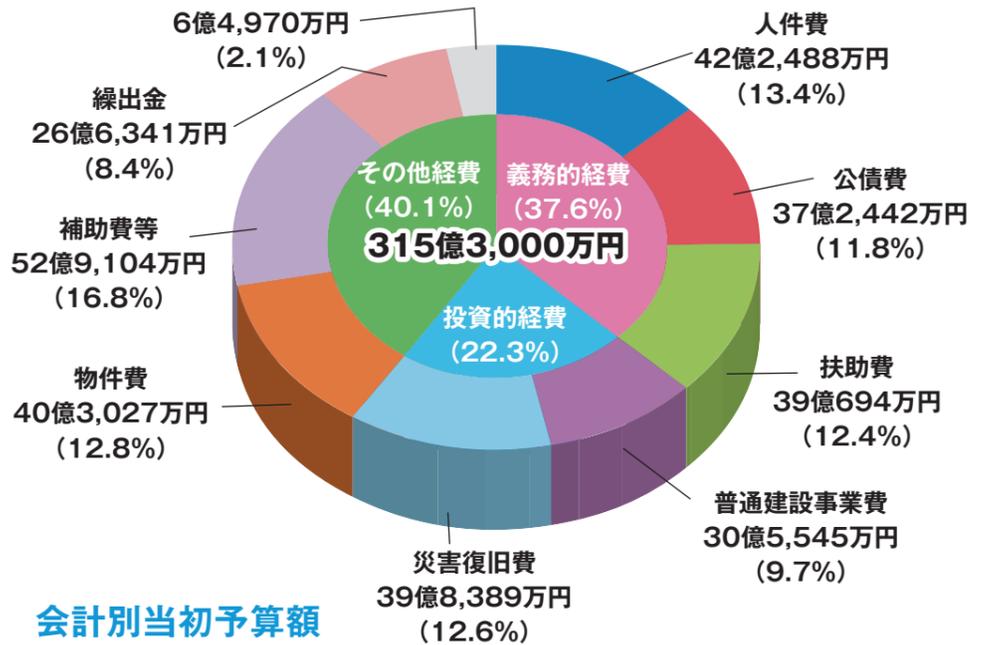


年間商品販売額等の推移 (商業統計調査及び経済センサス-活動調査)

※平成19年以降商業統計調査(基準日:6月1日)は行われていなかったため、平成24年は平成24年2月1日基準日を実施した平成24年経済センサス-活動調査の結果を、平成28年は平成28年6月1日基準日を実施した平成28年経済センサス-活動調査の結果を参照。産業分類別に分類できない不詳事業所を除いて集計しています。



一般会計性質別歳出内訳



令和4年度 会計別当初予算額

会計名	令和4年度予算額	令和3年度予算額	増減額
一般会計	315億3,000万円	273億7,000万円	41億6,000万円
特別会計			
国民健康保険事業	46億4,300万円	42億7,150万円	3億7,150万円
後期高齢者医療事業	11億9,800万円	11億7,700万円	2,100万円
農業労働災害共済事業	570万円	430万円	140万円
生活排水処理事業	12億3,500万円	13億2,200万円	▲8,700万円
財産区	42万円	46万円	▲4万円
合計	386億1,212万円	341億4,526万円	44億6,686万円

雲南市 観光マップ

ヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川をはじめ、神話・伝説ゆかりの名所が各地にあり、加茂岩倉遺跡など多くの史跡や古墳も残されています。山間地では古くからたたら製鉄や炭焼きなども盛んに行われてきた歴史豊かな地域でもあります。



島根県雲南市の観光サイト「うなん旅ネット」の二次元コード



4 かもいわくらいせき 加茂岩倉遺跡

全国最多、1カ所で39個の銅鐸が発掘され、出土物が国宝に指定された本遺跡は、同じく全国最多の銅剣が出土した荒神谷遺跡(出雲市斐川町)と近いことから、古代出雲に強大な勢力が存在していたことを示しています。



1 みどり さくらよいごう 緑の桜 御衣黄

春、一般的な桜より遅く4月中旬から下旬にかけて、三刀屋川河畔などに、約120本の薄黄緑色の桜「御衣黄」が咲き誇ります。さわやかで気品のある色合いが貴族の衣装を彷彿とさせることからその名が付いたとされる大変に珍しい桜です。



2 ながいたしきねんかん 永井隆記念館

長崎で被爆しながら、身を挺して原爆傷患者の救護にあたり、病床に伏しつつも「長崎の鐘」「この子を残して」などの名著を残し、世界に「平和を」の願いを訴え続けた永井隆博士の遺品等を展示しています。令和3年4月リニューアルオープン。

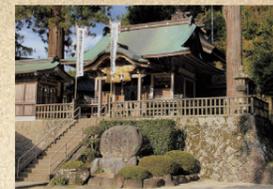


3 りゅうずたき 龍頭が滝

中国地方随一の名瀑といわれる龍頭が滝は、落差40mの雄滝と30mの雌滝からなり、近くの「八重滝」とともに「日本の滝百選」に選定されています。雄滝の裏側の岩窟から眺める滝も圧巻です。



雲南市観光キャラクター 人気アニメ「秘密結社 鷹の爪」の人気者・吉田くんは雲南市吉田町の出身で、雲南市の各地に出没しています。



5 すがじんじや 須我神社

スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治し、めとったクシナダヒメとともに創建したとされる「日本初之宮」で、スサノオノミコトが「八雲立つ 出雲八重垣妻ごみに 八重垣つくる その八重垣を」と歌を詠んだことから、和歌発祥の地ともいわれています。



6 うしおほんせん 海潮温泉

斐伊川の支流、赤川の谷あいにある名泉で、約1,300年前の「出雲國風土記」にもその名がうかがえる歴史ある温泉です。泉質はナトリウム-硫酸塩・塩化物泉で、神経痛などに効能があるといわれています。



7 ひいかわていぼうさくらなみき 斐伊川堤防桜並木

「日本さくら名所100選」に認定された中国地方有数の桜の名所で、約2kmにおよぶ800本の桜のトンネルが楽しめます。樹齢80年以上の古木も多いため、桜の専門家「桜守(さくらもり)」が丹念に桜を手入れています。



8 いずも ゆむらおんせん 出雲湯村温泉

「出雲國風土記」に、「漆仁(しつに)の川辺に薬湯あり 一たび湯浴みすればすなわち身体和らぎ、再びすばばすなわち万病消える」とあり、古くから効能の高い秘湯として有名です。泉質はアルカリ単純温泉で、切り傷、火傷、皮膚病などに効能があるとされています。



9 すがやさんない 菅谷たたら山内

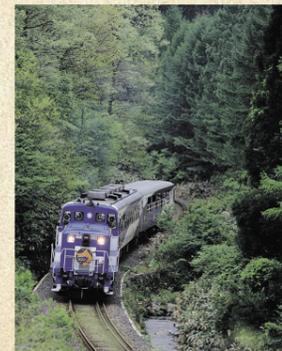
映画「もののけ姫」の「タタラ場」のモデルになった場所で、日本遺産「出雲國たたら風土記」の構成文化財の一つです。日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」の拠点で往時の姿のまま残っています。

VRで体験する



10 きすきせん 木次線トロッコ列車

「奥出雲おろち号」



ヤマタノオロチ神話ゆかりの斐伊川沿線をめぐる観光列車で、新緑から紅葉の時期まで、中国山地の雄大な景色を、開放感のある専用車両で満喫できます。
●運行区間 JR木次線木次駅～備後落合駅(60.8km 所要時間約2時間)
●運行期間 4～11月の金、土、日、および祝日(夏休み期間は毎日)1日1往復 ※令和5年度で運行終了